



早振収第 549 号  
平成19年4月23日

国土交通省道路局長 殿

早川町長 辻 一 幸



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付き、国道企第114号で依頼のありましたこのことについて別紙のとおり提出します。

国交省

中期的な計画の作成に当たっての意見の提出(山梨県早川町)

1、中部横断自動車道路の早期実現

当地域はいまだに高速自動車社会に組されていません。地域活性化のためにも一日も早い実現を待望いたしています。

2、生活道路行き止まり状態の即解消を(奈良田地区一桃の木地区間開設)

当町の唯一の生活道路は地域を縦断(38キロ)している国道52号線から分かれる主要地方道路南アルプス公園線である。しかしこの道路は町の最北部奈良田集落で行き止まりであり、現代ではこのような状態の自治体は全国でも稀です。

本町と隣接市南アルプス市桃の木(この地域も旧芦安村地域で幹線道は行き止まり状態)地内約10キロを生活関連道路として開設していただけたら、人の交流、災害時の交通の確保、物流の促進、不便さの解消等につながり両地域の悲願であります。

3、安全、快適に運転できる道路を

渋滞の緩和、走って気持ちのよい道ーガードレールの工夫、四季を感じる並木、表示板の工夫等。

東海沖地震が言われている今日、道路上の山地崩壊が心配の地域です。その安全対策を。

4、地方道路も重視した道路網のネットワーク化の促進

都市と地方の格差の拡大は地方道路整備の遅れに由来すること大である。引き続き道路特定財源を維持して地方道路整備に努力をしてほしい。